

会 議 録

令和5年度第2回宮古島市教育委員会（臨時会）		
日 時	令和6年2月19日（月） 開会：午後2時00分 閉会：午後3時00分	
場 所	宮古島市役所 3階 会議室①	
出席委員名	教育長 大城 裕子 教育長職務代理者 中尾 忠祐 教育委員 前泊 直子 教育委員 平良 智枝子 教育委員 根間 玄隆	
事務局員	(教育部) 部長：砂川 勤 (生涯学習部) 部長：天久 珠江 (教育総務課) 課長：平良 文太郎 課長補佐：古謝 勝広 総務係長：我如古 千佳枝	
説明員	(学校給食共同調理場) 場長：平良 勝彦 場長補佐：下地 千栄子 (学校教育課) 課長：与那覇 周作	
議案等	件 名	結 果
議案第38号	会議録署名委員の指名について 宮古島市立学校給食共同調理場運営に関する規程の一部改正について	可 決
議案第39号	令和6年度宮古島市立学校管理職人事について	可 決
そ の 他	「宮古島市の子ども像」に向けての取り組みについて	
そ の 他	放課後子ども教室の開催について	
そ の 他	子ども達への朝食アンケートについて	

会 議 録

大城教育長	<p>これより令和5年度第2回教育委員会（臨時会）を開催致します。 本日は、全員出席です。</p> <p>それでは、日程第1「会議録署名委員の指名について」です。本日の会議録署名委員に平良智枝子委員を指名します。よろしくお願いします。</p>
大城教育長 共同調理場 平良場長	<p>次に日程第2「議案38号 宮古島市立学校給食共同調理場運営に関する規程の一部改正について」を議題といたします。 それでは説明をお願いします。</p> <p>「議案38号 宮古島市立学校給食共同調理場運営に関する規程の一部改正について」、提案理由 食材費の高騰に伴い、給食費を値上げする必要があるため、本案を提案します。</p> <p style="text-align: center;">（ 資料に基づき説明 ）</p>
大城教育長	<p>ただいま説明が終わりました。お手元の資料をご確認いただきまして、ご質問、ご意見などありましたらお願いいたします。</p>
中尾委員	<p>学校給食共同調理場運営委員会において400円アップというのが出たと思いますが、その根拠と、前回はいくら上がったのか教えていただけますか。</p>
共同調理場 平良場長	<p>前回、令和4年度ですが、同じように、1食当たり22円、月額で400円の値上げをさせていただきます。今回も同じようなアップになります。 給食費には、主食のご飯やパン、牛乳、食材としておかずとかがございます。それらを積み上げての一食あたり22円の値上げということで提案させてもらっています。</p>
中尾委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>400円アップの根拠の中で、児童生徒の給食費においては、現在、無償化ということで実際に家庭の負担が増えるということはないという認識ですが、そうは言っても、これはあくまで市の方針ということで、いつそれがなくなってしまうかわからないというところでは、やはり現状の給食費を保護者の皆さんに</p>

	<p>もししっかりと認識していただく、市としても、子供たちの給食費無償化のために、これだけ使っていますという周知もそうですし、逆に言えば、無償化がなくなると給食費にこれだけかかるんですよということも周知する必要があるかと思います。これは意見です。</p> <p>最後に、物価が今、高騰していく中で、調理場の職員の待遇はどういうふうになっているのかを伺います。</p>
<p>共同調理場 平良場長</p>	<p>賄い材料費を値上げする費用で、職員の改善が図られるということはないです。これはあくまでも、給食を提供するための食材費です。</p> <p>調理員の処遇としては、夏場ですと暑さもありますし、なかなか休憩時間も取れないような労働環境でもありますので、そういうことを鑑みて、1月から給料のベースアップを図って、今年度は去年よりも働きやすい環境になっていると思います。</p>
<p>中尾委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>当然、普通の方々も物価高騰のあおりを受けていて、皆さんも一緒だと思います。今回、若干強制的に400円上がるわけですから、調理場の職員の処遇について、一般的な待遇の向上はぜひお願いしたいと思います。</p> <p>以上2点は意見です。</p>
<p>大城教育長</p>	<p>他にありませんか。</p>
<p>前泊委員</p>	<p>もし宮古島市の補助がなければ、小学校は児童から4600円徴収するということですか。</p>
<p>大城教育長</p>	<p>はい、そうです。</p>
<p>前泊委員</p>	<p>わかりました。</p>
<p>大城教育長</p>	<p>他にご質問やご意見がありましたらお願いします。</p> <p>(質疑なし)</p>
<p>大城教育長</p>	<p>他になければ、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。</p>

	(異議なし)
大城教育長	<p>それでは、「議案38号 宮古島市立学校給食共同調理場運営に関する規程の一部改正について」は原案のとおり可決といたします。</p>
大城教育長	<p>次に、日程第3「議案第39号 令和6年度宮古島市立学校管理職人事について」は人事に関する案件となりますので、宮古島市教育委員会会議規則第9条の規定により秘密会にしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
大城教育長	<p>ご異議なしと認め、宮古島市教育委員会会議規則第9条の規定により、議案第39号の審議は秘密会にすることに決定いたしました。</p> <p>関係者以外は、退席をお願いします。</p> <p>(秘密会につき会議録省略)</p>
大城教育長	<p>ここで秘密会を解きます。</p> <p>「議案第39号 令和6年度宮古島市立学校管理職人事について」は原案のとおり可決といたします。</p>
大城教育長	<p>次に日程第4「その他」でなにかありますか。</p>
平良委員	<p>「宮古島の教育を語る市民大会」でも、「宮古島の自然や文化に誇りを持つ子ども達を育てたい」というお話がありました。そのために小学校、中学校、高校で、具体的にどういう取り組みがされていますか。</p>
大城教育長	<p>地元を深く理解する、宮古島のことを深く理解するための体験活動は、各学校の総合学習などで取り組んでいます。教育委員会としても支援していくために、バス代の補助を予算措置したところです。</p> <p>学校には宮古の文化、歴史に触れる体験を求めている、各学校もそれに応じて様々な総合学習、教育課程の編成をしていると思っています。</p> <p>昨年に比べて今年度はかなり充実した総合学習が行われているという印象を持っていますが、折に触れて、これからもしっかりと学校側に伝えていきたいと思っています。</p>

平良委員	<p>先日、宮古観光協会が新たな視点で、宮古の自然と文化をPRするDVDを作ったという話がありましたけれど、そういう、宮古島を理解するために、子供たちに映像で見せられるような副教材があればいいとすごく思います。</p> <p>高校生になっても宮古島のことをうまく伝えられない、話せない子供たちが多くて、故郷の宮古島の自然や文化、歴史などを学校教育の中で、使える教材を提示していく必要があるのではないかと思いますでしょうか。</p>
大城教育長	<p>教材として使える動画、あるいは画像などは、エコアイランド推進課が提供していますので、年度初めの校長連絡会でエコアイランド推進課の職員から紹介しているところです。ただ、各学校の活用の頻度は把握していません。</p> <p>それと、宮古島市は希少種、固有種が大変多いです。それを保護しなければならないという意識はみんなあると思いますが、どれが希少種で、どれが固有種かを子供たちも十分に認識していないと思います。令和6年度は、それを子供たちに知ってもらうための理科の副読本の準備を進めていきたいと思っています。今は、3年生と4年生の社会の授業で副読本として「私たちの宮古島市」という本を使って、宮古島のことを学んでいます。その理科バージョンとして、必要だと感じています。</p> <p>平良委員がおっしゃるように、知っているようで知らない、見ているようで見えていないというのがあって、子供たちも知っているだろうと思っていたら全く知らなかったり、普段目にはしているにもかかわらず、十分に落とし込めていない課題があると思っています。教育委員会として、どう見せていくか、心の目でしっかり捉えられるようにしていくかというところは、教育委員の皆さんのお知恵も借りながら進めていきたいと思っています。</p> <p>前泊委員どうですか。</p>
前泊委員	<p>これは、総合学習でやるしかないですが、私の実感としては、各学校の総合学習は、そんなに充実していません。</p> <p>特に地域の教材を学んでいくということに関しては、自分が現役の頃から訴えてもなかなか入っていけないものが多々ありました。求めれば、教材はあります。でも、学校が子供たちにこういうことを追求させたいと、カリキュラムを組んで求めれば、教材がDVD化されていなくても、副読本がなくても、十分にあると思います。確かに資料は子供たちにはちょっと難しいですが、今はパソコンを使っていろいろと調べたりもできるので、学校の総合学習のカリキュラムが、地域の学習を徹底して追求するような形になっていないというのが私の感想です。社会科は3、4年生で地域のことを扱うので、クリーンセンターの</p>

こととか、博物館、水関係など、必然的に地域のことが教材となりますが、何をやってもいいという学科では、あえて教えにくい、わかりにくい地域のものを徹底してやるというのは、現場が弱いのかなと思っています。

コミュニティスクールに、ある意味期待したいところですね。地域の方が入ってきて、城辺は城辺ならではの、下地は下地ならではのっていうのが入っていくといいかなと思います。

私が5年生を持っているときは、宮古上布について学んでいましたが、今は選択になっています。選択をするのも、教科書に載っているものとか、沖縄県の伝統工芸を扱った方が資料もたくさんあって、テストも作られているので、それを選択することが多いです。宮古上布の資料も工芸センターとかにいっぱいあります。ただ、宮古島にしかないことを伝えたいという教師の想いが少し低いような気がします。総合学習のカリキュラムは年間計画が出されていると思いますので、どの程度、地域のことをやっているのか見てみるといいのかなと思います。

統廃合したところ、特に城辺は4校が統合したので、それぞれ自慢するところをちゃんと残して、運動会で取り入れたりしていくと残っていくのかなと思いますが、学校も弱いのかなと思います。

副読本を作っても宝の持ち腐れにならないか心配です。特に理科は、地域のことを取り入れることがあまりないので、すごくいい資料なのに、活用されないのではないかと心配です。

子供たちが地域のことを知らないというのは、教えられていないし、徹底してやっていないところもあると思います。

大城教育長

それは大きな課題です。方言継承も含めて。

前泊委員

一つ関連していいですか。

放課後子ども教室のコーディネーターをやっている美津枝先生から、教室が足りないという理由で、どんどん放課後子ども教室がなくなっているの、何とかありませんかというお話がありました。放課後子ども教室を実施している学校には、不登校だけど、放課後子ども教室が開催される日は学校に来る子もいたりして、放課後子ども教室にすごく教育的な価値を見いだしていて、放課後子ども教室を開催したいと強く訴えていました。

確かに、空き教室はないけれども、例えば、週1回だったら、音楽室を借りるとか、それは学校の校長先生の判断になるかと思いますが、教室があるからやると考えるべきなのか、子供たちにとっていい活動だから、特別教室等を活用

	<p>して、週1回ここでやるということも考えるべきなのか、今は、空き教室がないから、もうやらないということになってしまっているのではないかと気になっています。</p> <p>予算が流れたりして、十分活用できていないこともありましたが、楽しみにしている子供たちがいて、とてもやりたいという熱い思いを持っているアドバイザーの方がいるのであれば、週1回だったら材料を校内の一角に置かせてもらったり、何曜日だったら可能なのか、学校の校長先生たちにお問い合わせしていくとか、もう少し検討して、できる方法を考えていった方がいいと感じました。</p>
<p>大城教育長 生涯学習部 天久部長</p>	<p>放課後子ども教室の件で天久部長から何かありますか。</p> <p>おっしゃるように今、空き教室がないということで、予算が流れたりしていることもあるんですよ。コーディネーターさんも探せないということも聞いたりしていて、どういうふうに放課後子ども教室を持っていくかというのは、課内でもいろいろ検討していますので、今の意見、それを持ち帰って、課内でも再度検討させていただきます。</p>
<p>平良委員 生涯学習部 天久部長</p>	<p>是非、そういう方々の意見を直に聞いて、いろいろヒントをもらった方がいいと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p>
<p>根間委員</p>	<p>先ほどの自然、歴史、文化をしっかりと教えていこうという話で、教えたこととはたくさんあっても、現場の制限がたくさんあると、前泊委員がおっしゃったように、総合の学習の時間でしかできないというのは、現状そうなのかと僕も思うところです、ただ、自然だったり歴史だったりというのは、社会の勉強であったり、理科の勉強であったり、そこと密接に結びついていくもので、宮古島で独自のものを作っていこうと思えば、まず時間の確保、今ある教科の時間内でそれを教えられるようにならないかなと思います。</p> <p>理科の時間で、自然を見に行く、地形を見に行く、生き物を研究する、そういうことができればいいと思いますが、それを実現させようとしたときに、現場の先生方がすることは難しいと思うので、研究をする人材なり、機関なりを確保する必要が出てくるのかなと思います。</p> <p>ちなみに教育研究所ってどんなことをされているんですか。</p>

大城教育長	<p>教育研究所は教員の研修にかかること、教育相談室、適応障害教室のまていだ教室も担当しています。主に教員の研修に関することです。</p>
根間委員	<p>地域と融合させた教科教育、今、それがすごく求められている時代だと思います。実体験と教科書での学びが結びついていくと、そこにリアリティを持つので、教科教育に、もっと関心を持って、意欲を持って入っていけるとと思います。その題材、興味を引くものは、ぜひ宮古に実際にあるものであってほしいと思いますので、そこをどう作っていくかとなった時に、個人個人の先生の努力に任せることは難しいかなと、時間がかかるかなと思いますので、研究校であったり、理科の先生同士で勉強会であったり、そういう取り組みができれば、総合の時間以外を活用していける方向に進んでいかなかなという気持ちです。</p>
大城教育長	<p>そうですね。実は生涯学習振興課の事業として、「マイ宮古プロジェクト」を企画しました。これは3本立てで、interpreterの要請、先ほど根間委員がおっしゃったように、学校の先生だけに地域のことを教えてもらうというのは、かなりハードルが高くなっていくと思うんですね。沖縄本島からこられる先生方もいるので、宮古の文化、歴史をその先生が、子供たちに指導するということはかなり限界があるかなと、その難しさから、なかなか取り組めないという状況に至っているのかなと思って、このinterpreterの要請、宮古の自然、歴史、環境について、しっかり子供たちに教えていける人、まずは環境問題、自然分野に関してスタートさせて、それから文化、歴史というふうに段階を経て要請をしていこうと。最初は自然編でスタートして、interpreterをしっかり要請して、その認定された人が総合学習のときに、外部指導者として入ってもらう計画をしていましたが、予算の確保ができませんでした。ただ、これに関しては「マイ宮古」というワードを大事にして、「私の宮古、私達の宮古」、子供たちが当事者意識を持って、自分の島だ、自分がこの島の課題解決のために、なんとか取り組んでいかなければいけないという気持ちを少しずつ育てていけたらと思って、「マイ宮古プロジェクト」を企画しました。</p> <p>もう一つは、フォトコンテスト、皆さんタブレットを持っているので、タブレットで足元の宮古を撮影していく、コンテストを毎月やりながら、子供たちに島に目を向けていく、意識してみる、という機会を作っていくということに取り組んでいきたいと思っています。3本目は、さっき言った、理科の教材(副読本)のことです。</p> <p>ただ、これは予算がなくても、できるところから始めようという話を生涯学習</p>

	<p>振興課としているところです。例えば「マイ宮古」というワードをどんどん外に出していくとか、子供たちにあらゆる機会に島に目を向けるような、島を見つめるような、そういうアクションを起こしていくとか、予算がなければできないということではなくて、今年度できるところからスタートしようという確認をしているところです。</p> <p>あとは、DX化が進んで、授業改善に繋がって、授業の効率化が進んでいくと思います。そうしたら、午後の時間をたっぷり使って、子供たちが外に出る、授業で学んだあとは、それを実体験として、自分に落とし込めるように外に出てもらうということで、バス代の補助も出しながら、子供たちには大いに外に出かけていって、宮古を体感するという機会を作っていってほしいと思っています。これをどう学校に伝えていくかということが大事ですね。</p>
前泊委員	<p>宮古のゴミ問題を何十年もやってきましたが、やっているときは子供たちは、とても一生懸命やるんですが、なかなか授業として継続しないと実感していたので、虫のことだったら、低学年も生活学科、何か育てる中で、見ている虫のこととか、沖縄県の昆虫とか、そういうことだと子供たちも興味が広がっていくかも知れません。</p>
大城教育長	<p>今後、「宮古の自然と文化に誇りを持つ」というところを強化していけるよう取り組んでいきたいと思います。</p>
根間委員	<p>先日、不登校ひきこもり0の公演で、子供が休みがちであったり、ちょっと落ち込みやすいであったりというのは、食に原因があるのではないかということで、朝食を食べていない児童生徒がどれくらいいるのか、まずは実態として、食べているか食べていないか、もしくはどんなものを食べているのかというのを、ぜひ児童生徒に聞いてみてほしい、保護者だと違った回答が出るかもしれないのでというご意見がありました。</p> <p>教育委員会として、朝食のアンケートを実施して何かデータがあるのか、今の意見を踏まえて、もし取り組めるとしたら、児童生徒に向けて、実際、朝食を食べているか食べていないか、どんなものを食べているのか、パンだけなのか、しっかりお味噌汁とご飯を食べているのか、実態調査をして、みんなで把握できればと思っていますが、今、取り組みとして何か行っていることとか、今後予定があれば教えていただけますか。</p>
大城教育長	<p>過去にそういうアンケートを実施したかというのは、情報を持ち合わせてい</p>

<p>根間委員</p>	<p>ませんが、ここ3年はアンケートの実施はしていません。 この件に関しても学校教育課と検討していきたいと思います。</p> <p>何かを取り組むときに、実態をしっかり把握した上で施策を決めるのはすごく大事だと思っています。その上で、子供たちにアンケートを取るというのは、それぞれ1人1台端末を持っていて、みんなに同時に配信ができる、回収ができるというのは、ある意味DXが進むことの強みのかなり最たる部分だと思いますので、子供自身に現状を聞くということを、ぜひ1人1台端末を活用して、もっともっとフレキシブルに子供の意見を聞ける、実態を把握するような取り組みが進んでいければと思います。</p> <p>教員目線で今の学校の現状を見るとか、大人の方で、ああではないか、こうではないかと想像することも多いかなと思います。今、子供に取れるアンケートの数というのは数十倍にできるような環境だと思いますので、それをもっと生かしていければ、いい施策が生まれてくるのではないかと思います。</p> <p>もし、朝食のアンケートを3年間取っていないということであれば、まずは、その辺あたりからスタートしてみたいかですか。</p>
<p>大城教育長</p>	<p>学校教育課と調整を図っていきたいと思います。貴重なご意見ありがとうございます。</p>
<p>大城教育長</p>	<p>他に何かありませんか。</p> <p>(特になし)</p> <p>それでは、以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしました。 これで令和5年度第2回宮古島市教育委員会臨時会を閉会いたします。 お疲れ様でした。</p>
	<p style="text-align: right;">教育長 大城 裕子</p> <p style="text-align: right;">会議録署名委員 平良 智枝子</p>